

研究課題名 維持血液透析患者における栄養指標：Geriatric Nutritional Risk Index (GNRI)と骨折発生との関連

研究責任者名 広島大学 腎臓内科 教授 正木 崇生

研究期間 2020年8月6日(倫理委員会承認後)～ 2023年3月31日

#### 対象者

2011年12月1日～2012年11月30日の間に、広島大学およびその関連施設の腎臓内科にて、多施設共同研究“血液維持透析患者における脳性ナトリウム利尿ペプチド前駆体N端フラグメント（NT-proBNP）の有用性に関する多施設共同研究”（第E疫-480号）において、診療録情報の収集に同意された患者さんのうち、週3回外来通院透析による治療を受けられた患者さんを対象とします。

#### 意義・目的

透析患者さんは、一般人口と比較して骨折の発生率が高いことが知られています。また、透析患者さんの低栄養は、生命予後の悪化や合併症の発生と関連していることが知られており、透析患

使用

作るスコアリングモデルが頻用されています。頻用されているモデルのひとつに、

## 問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-1506

広島大学大学院医系科学研究科 腎臓内科学

教授 氏名 正木崇生 (研究責任者)

広島大学大学院医系科学研究科 腎臓内科学

大学院生 吉田マリア (担当者)

研究機関：広島大学